

衆議院議員 民主党埼玉県第1区総支部

たけまさ公一 TAKEMASA REPORT



2005年
5月

VOL. 42

国会レポート



この「国会レポート」は、大宮駅東口、与野駅東口、北浦和駅東・西口、浦和駅東・西口、東浦和駅、大和田駅、七里駅、岩槻駅、東岩槻駅などの早朝駅頭でも、配らせていただいております。

2005年5月号 CONTENTS

はらだ健太氏
初当選

【5月15日 さいたま市議会浦和区補欠選挙】

旅券法等改正で質問に立つ！

【4月15日 外務委員会】

ミサイル防衛
とシベリアンコントロール

【5月13日 安保委員会】

郵政民営化よりも年金改革

ゆるぎない社会保障の再構築を！

昨年 10 月の厚生年金保険料の値上げに続き、この 4 月から自営業者等の皆様が加入する国民年金の保険料が引き上げられました。月額 280 円アップで年間では 3,360 円になります。今後 13 年間は同じ率でアップしつづけるので、最終的には年間 43,200 円の負担増です。年金への信頼が回復しない中、値上げばかりが先行しています。

4 月 14 日から与野党 5 党による社会保障制度の見直しが実質的な協議に入りました。35 人の衆参議員による「年金合同会議」です。争点は 年金一元化の対象をどこまでにすべきか 基礎年金の財源を全額税でまかなうか 消費税を年金目的税化するか 納税者番号制度をどう導入するかなどです。民主党は、国民年金も含めた全ての年金を一元化して、職種による格差をなくすことを主張しています。また財源については、まずは歳出を見直してムダづかいを正すことで財源を生み出す、足りない部分に消費税をあてる場合もその使い道は年金目的に限定し、勝手な使われ方を抑止すべきだと考えます。

国民の関心は郵政民営化ではありません。「国民の財産」としてのゆるぎない年金制度の再構築にこそあります。皆様に審議の進み具合を明らかにしながら、国会決議にある今秋の合意を実現します。

独立行政法人を徹底追及！

【民主党 独立法人ワーキングチーム座長として】

現在、民主党の独立行政法人 W T では、実際の法人を招請してのヒアリング調査を行っております。ここにその一端を紹介いたします。高齢・障害者支援機構は、勘定が 3 つに分かれ非常に複雑で、しかもその中の納付金勘定は身体障害者の法定雇用率が守られない企業からの納付義務のお金の項目ということでした。特に 200 億円の信託財産や各都道府県の雇用開発協会の未収金や財産が目を引きましたが、地方関係団体の説明義務はないとの答えでした。

たけまさ公一「国会レポート」第 42 号

水産総合研究センターはこの 4 年で 3 度も統合を繰り返しています。5 年間の中期計画に毎年 1 %の経費削減がうたわれていますが、統合の目的は経費削減ではないか、5 年間で 5%削減は少なすぎないかという指摘が上がりました。

水資源機構も固定資産が 2 兆円を越えています。役員には特殊法人から独立行政法人へと移管する際に、理事を辞職し監事に、監事を辞職し理事に就任していたケースも見受けられました。さらにその際に退職金が払われていることも判明し、詳しく問いただしたところ独立行政法人にまたがる部分はプライバシーに関わるため公表できないとの答えでした。

今後とも調査を続けて皆さんに報告してまいります。

旅券法等改正で質問に立つ！

【4月15日 外務委員会 質疑】

テロ対策でパスポートを IC チップ入りに変える法案質疑では、法務省にその他刑法、入管法改正等で不法入国、不法滞在等が厳しくなる分、下の表のように少ない日本の難民認定要件の緩和を求めました。

また、17日の日中外相会談前でしたので、昨年尖閣諸島不法上陸に当時の川口外相にも訪中取り止めを求めたことを引き合いに、訪日取り止めも選択肢のひとつではと質したところ、町村外相からは「場合によっては」という答弁。

さらに、BSE 問題の責任者であった熊沢元農水省次官のチェコ大使就任を指摘し国会の大使人事への関与について財務金融委員会における日銀総裁の参考人招致を例に提案を行いました。

表：国別 条約難民の年間認定数

	94年	95年	96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年	03年
日本	1	1	1	1	16	16	22	26	14	10
アメリカ	8131	12454	13532	15484	15969	19830	24000	28304	27665	22566
イギリス	1490	2430	4175	7390	10600	30880	29529	24610	24865	21450
ドイツ	25578	23468	24100	18222	11320	10261	11446	22719	6509	3136
フランス	8035	5438	5205	4948	5514	5956	7029	9703	10750	13167
イタリア	298	285	172	348	1026	809	1649	2102	1121	726

* 条約難民とは 1951 年難民条約第 1 条 A の基準により国が難民と認定し、条約に基づく様々な権利を享受する資格を有する者
出典：UNHCR

武正公一(たけまさこういち) プロフィール

あゆみ

昭和36年生まれ。さいたま市浦和区大東3丁目在住。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。松下政経塾(5年間)卒塾。

浦和で「プロサッカー球団をつくろう会」を旗揚げする。地域では、レッドダイヤモンド後援会理事、埼玉県ポウラズ連盟会長を務める。

県政の場で

平成7年4月、埼玉県議会議員初当選。

平成11年4月、埼玉県議会議員2期当選。

国政の場で

平成12年6月、「国政・新時代!」を掲げ衆議院に初挑戦。10万5783人のご支持を頂き初当選。平成15年11月9日、11万7587人のご支持を頂き二期当選。

国会での委員会

外務委員会委員、安全保障委員会委員

民主党での役職

NC(ネクストキャビネット)外務総括副大臣、役員室次長。

民主党埼玉県連幹事長。



たけまさの活動地域
お世話様になっています

第44回

たけまさ公一と語る会

テーマ 『国会報告』
「郵政改革」

日時 5月29日(土曜)
午後2時~4時

場所 さいたま市民会館うらわ
浦和パインズホテル前

会費 無料

『女性の会』主催

福岡政行トークショー

カンボジアに学校を作る活動などを展開する高名な政治評論家。感動的な話で会場は、きっと涙で包まれます。

日時 7月13日(水曜)
午後2時開会

場所 浦和パインズホテル前

会費 2000円(コーヒー&ケーキ)

上のふたつの事業のお問い合わせは、さいたま事務所までお願い致します。

たけまさ公一事務所

さいたま事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F

岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12

国会事務所 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館312号室

TEL048-832-3810 FAX048-832-3846

TEL048-749-6801 FAX048-749-6802

TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715

e-mail : voice@takemasa.org

たけまさ公一ホームページ

<http://www.takemasa.org>

i-mode版 <http://www.takemasa.org/i>

活動日記「今日のたけまさ」更新しています